

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 3359 号	氏名	西尾 崇志
論文審査担当者	主査 宮崎 章 教授 副査 内田直樹 教授 副査 市川博雄 教授		
論文題名： 成人期自閉スペクトラム症の生活，修学，就労状況に関する診療録調査			
掲載雑誌名： 精神科 第40巻・第6号・870-877頁・2022年			
<p>成人期の自閉症スペクトラム障害(ASD)の有病率は1.0～1.7%と稀な疾患ではないが、その生活状況は明らかでない。西尾らは、2008～2017年度に記載された発達障害専門外来診療録を後方視的に調査し、精神疾患の診断がつかない受診者168名を対照に、成人ASD患者749名の生活状況を検討した。ASD群の平均年齢は29.2歳、男性76.2%、診断時平均年齢は27.1歳であった。ASD群の結婚歴は9.9%と対照群44.6%よりも低かった。18歳までにいじめられた体験はASD群で46.6%と対照群13.7%より多く、ASD群の不登校の割合は19.8%で対照群5.4%より高かった。大学で留年や中退を経験した割合は、ASD群で26.9%と対照群11.2%よりも高く、卒後の就労割合はASD群で67.3%と対照群90.3%より低かった。ASD群の初診時就労割合は41.3%で対照群70.7%より低かった。成人期のASD患者の多くは学童期に診断されず、生活・修学・就労など多方面で困難を抱えていることが示された。本論文は本学大学院学位論文(博士)審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p>			

(主査が記載)